

何が決め手になったのか

“

「生きるためには安全な水が、食料を得るためには肥沃な土壌と海が、呼吸器を健康に保つためにはきれいな空気が必要であることは、誰もが認めることです。これらを実現するためにすべきことをすれば、気候の健康状態も改善されます。人と地球環境は切っても切れない関係にあります。両方を大切にしなければなりません。ロータリーが私たちのコンセプトを広げて、重点分野として私たちの地球を守る決定をしたことをとてもうれしく思っています」

ジェニファー・スコット

- ▶ オーストラリア、セントラル・ブルー・マウンテンRC
- ▶ 元オーストラリア環境大臣顧問
- ▶ ロータリー財団専門家グループのメンバー

マーク・マローニー 2019 - 20 年度 R I 会長に、ロータリーが「環境」を重点分野にすると決定した理由と、それに対するロータリーの会員の反応についてお話を伺いました。

なぜロータリーが環境を重点分野にすることが重要だと考えたのですか？

私はいわゆる環境保護論者ではありませんが、気候変動は私の孫や未来の世代にも影響を及ぼす問題であり、深刻な懸念を抱いています。ロータリアン、ローターアクト、ロータリアン候補者を対象とした調査では、どのグループでも「環境」が関心事のトップ5に入っています。そして一般の人々、つまりロータリアン候補者にとっては、第一に取り組むべきことでした。

そのロータリアン候補者たちが、ロータリーのウェブサイトにはアクセスして、私たちの重点分野を見て、環境が含まれないことを知れば、ロータリーとは別の選択へと進んでしまいます。環境問題は、私たちが本質的に取り組まなければならないと同時に、ロータリーの成長とも関係していると考えました。R I 会長として私が強調したかったのは、ロータリーの成長です。環境を重点分野の一つとして掲げていないことは、成長の妨げになると考えました。

理事会や管理委員会の投票の前に、環境についてロータリアンからどのような意見を聞いていたのでしょうか。

私が R I 会長エレクトだった 2019 年 6 月、アジア初のロータリークラブであるマニラ RC の 100 周年を祝うため、フィリピンへ行きました。当時の R I 理事のラファエル・ガルシア氏をはじめ、何人もの元 R I 会長や理事、元・現ガバナーが参加するパネルディスカッションに招かれ、私は壇上に立ちました。他のパネリストが私に質問しました。その質問の半分以上が環境に関するものだったことがとても印象に残っています。しかし、それはフィリピンに限ったことではありま

せん。世界中で環境について質問されました。ブラジルでのロータリー研究会でも、2019 年の国際大会でも、インドでのローターアクトのイベントでも。

2019 年 10 月に環境タスクフォースが設置され、翌年 6 月に新しい重点分野が承認されました。なぜこれほど早く達成できたのでしょうか。

新型コロナの影響でオンライン化される前から、2020 年にホノルルで開催されるロータリー国際大会をグリーンコンベンション（環境負荷の少ない大会）として認証されるように準備を進めていました。6 月 5 日の世界環境デーには、環境保全のためのロータリー行動グループと水と衛生のための行動グループと協力して、イベントを開催しました。これは、ロータリーで環境を前面に押し出すために行われたもので、誰かが少しサポートする必要があったのだと思います。しかし、私はそれほど強く働き掛ける必要はありませんでした。当時の R I 会長をはじめ、何人かの元 R I 会長が管理委員会に参加していて、その人たちがこの活動を望んでいたのですから。

「これはロータリーの仕事ではない」と言うロータリアンにはどのように対応しますか。

そのような人にはいまだに出会っていません。それに、私たちが誰かに重要しているわけでもありません。環境に影響を与えるプロジェクトの実施に興味があれば、グローバル補助金を利用して資金を得る機会を提供する手段がある、ということです。私たちは、ロータリアンが行動したいことに応えているのです。ロータリアンは、環境問題に取り組みたいと考えているのですから。

環境

ロータリーの会員は、これまでも重点分野を通じて、環境に役立つプロジェクトにグローバル補助金を利用することができました。では、今回新しくなった点は何でしょうか。

「環境」の重点分野では、次のような活動にグローバル補助金を活用することができます。

- ▶ 生息地の回復、原生植物の植え付け、外来種の動植物の駆除
- ▶ 絶滅危惧種の保護と野生生物の違法取引の防止
- ▶ 乱獲、汚染、海岸浸食への取り組み
- ▶ 環境保全と資源管理に関する地域社会の啓発
- ▶ 環境に優しい農業と持続可能な漁業の支援
- ▶ 資源管理における伝統的知識・先住民族の知識の利用促進
- ▶ エネルギー効率の高い輸送手段への移行支援
- ▶ 環境有害物質への暴露^{ばく露}の排除
- ▶ 食品廃棄物の削減

他のグローバル補助金プロジェクトと同様に、環境分野のプロジェクトは、地域社会の評価を受け、持続可能でなければなりません。対象外となるのは、地域社会の美化プロジェクト、単発の清掃活動、広範な戦略の一環でない植樹、屋外レクリエーションなどです。

環境分野のグローバル補助金の申請は、7月1日から受け付けます。詳細は rotary.org/environment をご覧ください。



Kei Scampa

“

環境保護主義者であり、誇り高いロータリアンである私にとって、ロータリーを環境に目を向けさせたことは、まさに私の関心事でした

ウデン・アクシェア

- ▶ パレスチナ・ラマラRC
- ▶ パレスチナ・グリーン・ビルディング協議会の共同設立者
- ▶ ロータリー財団委員

“

環境は、健康的な生活と地球上の生命の存続に大きな関係があります。私たちの生活に必要なものは環境に依存しています。ロータリアンは、この重点分野の活動を充実させるために、専門知識を共有することができます。ロータリアンが地域や海外でこれらのニーズに取り組む方法は無数にあるのです。

ジャラル・ウディン・ショエイブ

- ▶ バングラデシュ、コックスバザール・シャイカッタRC
- ▶ 土地利用プランナー
- ▶ ロータリー財団委員